

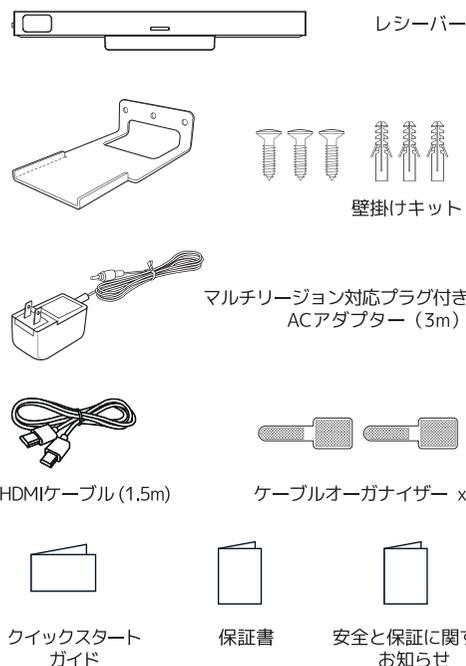
Connect Pro+ レシーバー

クイックスタートガイド

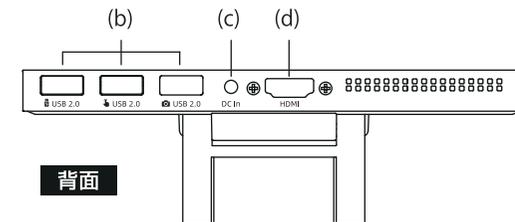
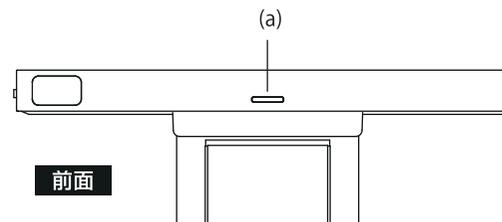


Scan for Multi-language Guide.
Kurzanleitung auf Deutsch scannen.
Guía rápida de escaneo en español
Scanner le guide rapide en français
Scansiona la guida rapida in italiano.
Zeskanuj skróconą instrukcję w języku polskim.
Escaneie o guia rápido em português.
日本語のクイックガイドを入手。
掃描以獲取中文使用說明書。

パッケージ内容



各部名称



(a) LEDインジケータ

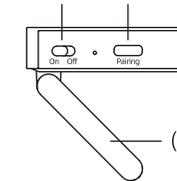
(b) USB-A 2.0 x3
(カメラ、タッチスクリーン、マウスやキーボード
などのアクセサリ接続用)

(c) DC入力

(d) HDMI出力

電源オン (スタンバイ)		青点灯
ボタンとの ペアリング 時	ペアリング中	紫点滅
	ペアリング成功	紫点灯
	ペアリングエラー	赤点滅
画面 共有時	接続済み (待機中)	青点滅
	画面共有時	紫点灯
	画面共有エラー	赤点灯

(側面)

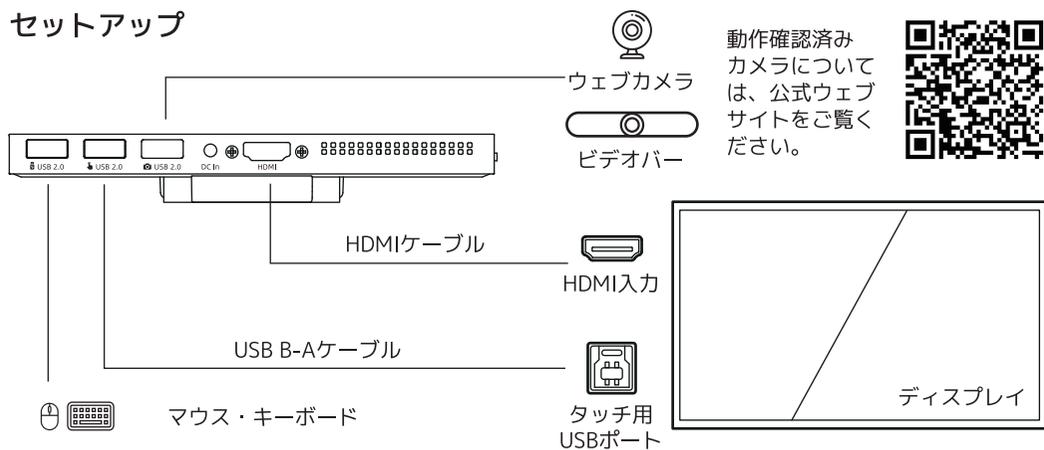


(e) 電源スイッチ

(f) USB-Cポート
(ペアリング用)

(g) マウントクリップ
(内蔵マグネット付き)

セットアップ



動作確認済み
カメラについて
は、公式ウェブ
サイトをご覧ください。



アクティベーション

初回起動時に「製品が登録されていません」と表示されます。案内に従ってWi-Fi設定を開き、ネットワークに接続してアクティベーションを行ってください。



アクティベーション状態を確認する方法

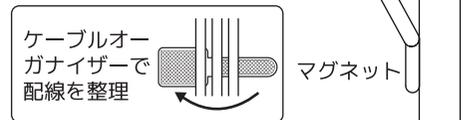
有効化されていない場合、再起動後に「製品未登録」が再表示されます。

確認方法: 設定 > さらに見る > 一般 > ソフトウェアバージョン



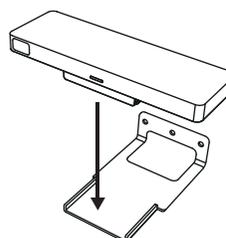
マウントクリップ

内蔵クリップとマグネットで簡単にディスプレイへ取り付け。



壁掛けに関して

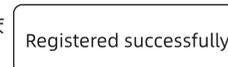
壁掛け用ブラケットをネジで固定し、Connect Pro Plus レシーバーを内蔵マグネットで取り付けます。



インターネットに接続すると「製品をアクティベーション中です」と表示されます。



完了すると「登録が完了しました。」と表示されます。



登録済み



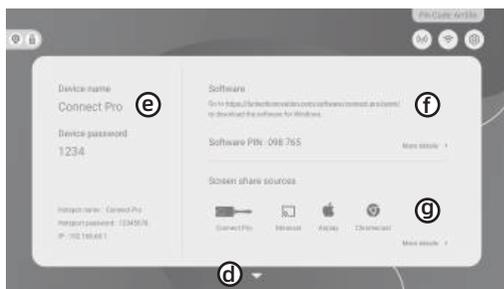
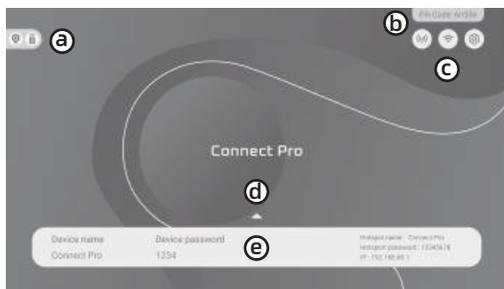
未登録



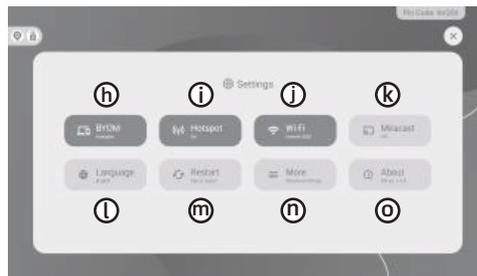
* 「◀」を押して設定ページに戻ります。

Connect Pro

Connect Proを使えば、どのディスプレイでもAirPlay、Miracast、Chromecast、Innex Connect Proボタン、またはConnect Proソフトウェアを通じてワイヤレスでコンテンツを表示できます。Connect Proソフトウェアを使用すれば、レーザーに接続されたカメラもワイヤレスで使用することができます。



項目	説明	
a	BYOMアイコン	BYOMが使用可能な場合に表示されます。アイコンが表示されない場合は以下を確認してください: - インターネット接続済みおよびアクティベート済み - カメラがディスプレイに接続されている - 設定でモデレーターモードが有効
	デバイスアイコン	画面共有の準備ができていないデバイス数を表示します。詳細を確認するにはタップしてください。
b	PINコード	このPINコードをConnect Proソフトに入力してディスプレイに接続し、画面共有を開始します。
c	Hotspot	Hotspotの状態を表示し、Hotspotページへのリンクを提供します。
	Wi-Fi設定	Wi-Fiの状態を表示します。アイコンをタップしてWi-Fi設定を開きます。 アイコンをタップして設定を開きます。
d	矢印	タップして情報ページを展開または折りたたみます。
e	情報	デバイス名や画面共有に必要なパスワードなど、基本的なデバイス情報を表示します。
f	ソフトウェア	Windows用ソフトのダウンロードリンクとクイックガイドへのアクセスを表示しています。
g	ソース情報	画面共有のソースオプションを表示します。「詳細」をタップすると、簡単な使用ガイドが表示されます。



項目	説明	
h	BYOM	カメラやマイク、スピーカーの情報を表示します。
i	Hotspot	名称、パスワード、APチャンネルなどの高度なHotspotに関する設定を行います。
j	Wi-Fi	接続するWi-Fiネットワークを検索し、インターネットの詳細を確認することができます。
k	Miracast	Miracastの有効/無効の切り替え、解像度の調整を行うことができます。
l	言語	Connect Proのインターフェースの言語を設定します。
m	再起動	タップしてConnect Proを再起動します。
n	さらに見る	デバイス名、パスワード、PINコードなどの詳細設定を行うことができます。
o	機器情報	詳細なデバイス情報 (MACアドレス、壁紙設定、復元オプションを含む) を表示します。

2. インターネットなしで 2.4GHz ネットワークまたはホットスポットに接続する

Connect Pro+ Receiverのホットスポットは、デバイスが2.4GHzネットワークに接続している場合、またはネットワークに未接続の場合に、5GHz帯で動作します。

ホットスポット設定ページで、5GHz AP チャンネル設定用に 2 つの地域から選択し、送信チャンネルを選んでください。



5GHz AP チャンネル設定	
グローバル	36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 149, 153, 157, 161, 165
日本	36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64

画面共有

ネットワーク状態

*Connect Pro+ボタンでの使用を除き、使用前に、お使いのデバイスが同じネットワーク上にある、または、Connect Pro+ Hotspotに接続されていることを確認してください。

共有方法	Wi-Fi	Hotspot	Miracast
Connect Proボタン	インターネット接続は不要	オン	オフ
Airplay	どちらかがオン		OFF
Miracast	オン	“オフ”	“オン”
Chromecast	どちらかがオン		オフ
Connect Proソフトウェア	どちらかがオン		オフ

Connect Proボタン *地域により別売り

Connect Pro+ レシーバーの電源を入れ、ディスプレイに接続してください。Connect Pro ボタンをレシーバーの USB-C ポートに差し込むと自動的にペアリングが開始されます。画面の指示に従ってセットアップを完了してください。



Connect Pro ボタンをフル機能の USB-C ノート PC ポートに差し込みます。ステータスランプが白くゆっくり点滅したらボタンを押して開始します。もう一度押すと画面共有が停止します。



Airplay

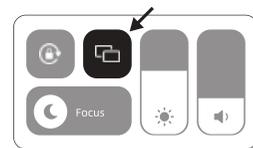
macOS

デスクトップ右上のアイコンをクリックしてコントロールセンターを開きます。「画面ミラーリング」を選択し、デバイスを選んでパスワードを入力すると開始します。



iOS

コントロールセンターを開き、「画面ミラーリング」をタップし、デバイスを選んでパスワードを入力して開始します。



Wi-Fi & Hotspot設定

1. 5GHz ネットワークに接続

受信機のHotspotチャンネルは現在のネットワークに従います。ホットスポット設定画面には「チャンネル XXX 自動割当」のようなメッセージが表示されます。

DFS チャンネルに関して

DFS (Dynamic Frequency Selection) チャンネルは、レーダー検出により一時的に利用できなくなり、デバイスが自動的にチャンネルを切り替えることがあります。

DFS チャンネルを使用すると、Connect Pro ボタンが赤く点灯したり、検出できなくなる場合があります。

不安定な場合は、非 DFS チャンネル (例: 36, 40, 44, 48) に切り替えることを推奨します。

Miracast

使用前にホットスポットをオフにし、Wi-Fiをオンにし、設定でMiracastを有効にして、デバイスが同じネットワークにあることを確認してください。

Windows

「Windows キー + K」を押してクイックアクションメニューを開き、デバイスを選んで表示されるパスワードを入力します。



Android

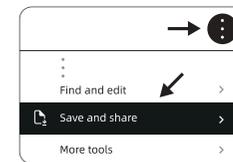
下にスワイプして設定を開き、「スクリーンキャスト」を有効にします。デバイスを選んでパスワードを入力します。一部の Android 携帯は Chromecast を使用します。



Chromecast

Chrome ブラウザー (Windows PC / Mac / Chromebook)

右上の「その他」アイコンをクリックし、「保存して共有」>「キャスト」を選択し、Chromecast デバイスを選びます。「ソース」を使って特定のタブまたは画面全体をキャストできます。



Connect Proソフトウェア



公式サイトからダウンロードするには
QRコードをスキャンしてください

デバイスの検索方法

1. デバイス名

デバイス一覧が表示されたら、接続したいデバイスを選び「接続」をクリックします。

2. PINコード

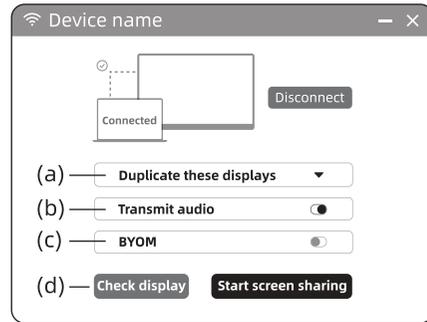
ホーム画面に表示されたPINコードを入力し、「接続」をクリックします。

3. IPアドレス レシーバーのHotspotへの接続が必要で*

ホーム画面に表示されたIPアドレスを入力し、「接続」をクリックします。



(a) 共有モード	画面を複製、拡張、またはアプリウィンドウを共有
(b) 音声出力	デバイスの音声をディスプレイに出力するかを選択
(c) BYOM (初期設定: OFF)	レシーバーに接続されたカメラ、マイク、スピーカーを使用
(d) ディスプレイを確認	共有する前に、正しいデバイスが接続されているか確認



BYOM

ビデオ会議ソフトで、「InnexCam」をカメラとマイクとして選択し、「InnexAudio」をスピーカーとして選択すると、ワイヤレスで接続して使用できます。

: innexCam : innexAudio

製品仕様

通信距離	～約10m
画面共有オプション	Connect Proボタン / Airplay / Miracast / Chromecast / Connect Proソフトウェア

画面共有解像度

Connect Proボタン	3840x2160 @30Hz; 1920x1080 @60Hz
Airplay	～ 1920x1080 @60Hz (ネットワーク環境に依存)
Miracast	1920x1080 @30Hz
Chromecast	～ 1920x1080 @30Hz (ネットワーク環境に依存)
Connect Proソフトウェア	～ 1920x1080 @30Hz (ネットワーク環境に依存)

BYOMカメラ解像度

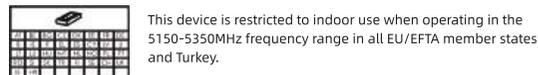
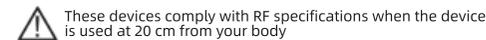
Connect Proソフトウェア	～ 1920x1080 (ネットワーク環境に依存)
-------------------	---------------------------

システム要件

Connect Proボタン	Windows 11以降 (Intel Core) MacOS – 最新バージョン推奨
Airplay	iOS / MacOS – 最新バージョン推奨
Miracast	Windows 11以降 (Miracast対応GPUおよびドライバ搭載) Android 4.2以降 (デバイス依存)
Chromecast	Google Cast対応; Chromecast内蔵対応 サポートOS / アプリ; Android 7.0以降 / iOS 14.0以降 / Windows 10以降 / macOS 11以降 / 最新のChromeOS / 最新のChrome ブラウザ
Connect Proソフトウェア	Windows 11以降 CPU: Intel Core i5以上

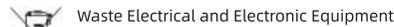
Europe

We declare under our Sole responsibility that the Connect conforms to the essential requirements of European Union Directives 2014/53/EU Radio Equipment Directive (RED), 2014/30/EU Electromagnetic Compatibility Directive, 2014/35/EU Low Voltage Directive and 2011/65/EU Restriction of Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment.



United Kingdom

We declare under our sole responsibility that the Connect conforms to the essential UKCA requirements 2016 No. : 1091. Electromagnetic Compatibility regulations 2016, 2016 No. : 1101 Electrical Equipment Safety Regulation 2016, 2017 No. : 1206 The Radio Equipment Regulation 2017, and UK SI 2016 No. : 1091, RoHS Restriction of the use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Regulations 2012 - UK SI 2012 No. : 3032.



For more information concerning the correct disposal of these products, please contact your reseller.



ネットワーク

ネットワーク遅延	< 10ms
セキュリティ	WPA2-PSK認証および128ビットAES暗号化に対応

レシーバー

Wi-Fi	2.4GHz/5GHz, IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
I/Oポート	USB-A 2.0 x3
	USB-C (ベアリング用) x1
	HDMI出力 x1 DC入力 x1
スイッチ	電源ON/OFFスイッチ
電源	12V 1.5A
保管温度	-10°C - 60°C
動作温度	0°C - 40°C
保管湿度	≤ 80%
動作湿度	≤ 80%
外形寸法	160 x 50 x 21.5mm
質量	125g

同梱品

Connect Pro+ レシーバー、Connect Proボタン x2、3m ACアダプター (マルチリージョン対応プラグ付)、壁掛けキット、1.5m HDMIケーブル、ケーブルオーガナイザー x2、クイックスタートガイド、保証書、安全と保証に関するお知らせ

取得済み認証

CE, FCC, ISED, NCC, MIC, KCC, MCMC, Anatel

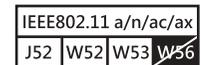
日本

- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
- 本製品は、絶対に改造して使用しないでください。改造した機器を使用すると電波法に抵触します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証は本製品の本体内で確認できます。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触するため、絶対に使用しないでください。

5GHz 帯ご使用上の注意

- 本製品の無線LAN (Wi-Fi) 機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 陸上移動中継局と通信する場合を除く。) 本製品が使用するチャネルは以下の通りです。



J52 (5.2GHz帯 / 34, 38, 42, 46ch)
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)

規制およびサービスに関する情報

本サイトに記載された製品には、それぞれの特許、著作権、意匠権、登録意匠および商標法により保護されている事項が含まれています。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。本書はオンラインで配布されます。本書は製品を使用する機関内での利用に限り複製することができます。ご所属機関外での使用については、当社の事前許可なく本書の一部を複製、送信、検索システムへの保存、または他言語への翻訳を行うことはできません。本書の内容は著作権法により保護されています。本書の作成にあたり細心の注意を払っておりますが、当社は本書に含まれる情報の利用により生じたいかなる誤りや脱漏、または損害について一切の責任を負いません。

Compliance

United States of America

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense. Do not make any changes or modifications to the equipment.

5.15 to 5.25 GHz band, UNII devices will be restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite System (MSS) operations. RF Radiation Exposure Statement Caution : This Transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

FCC ID : 2AC23-WXT26
RF model No. : WXT26M2601B
FCC ID : 2AC23-DCT12
RF model No. : DCT12R2511

Warning

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures :

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help
- Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

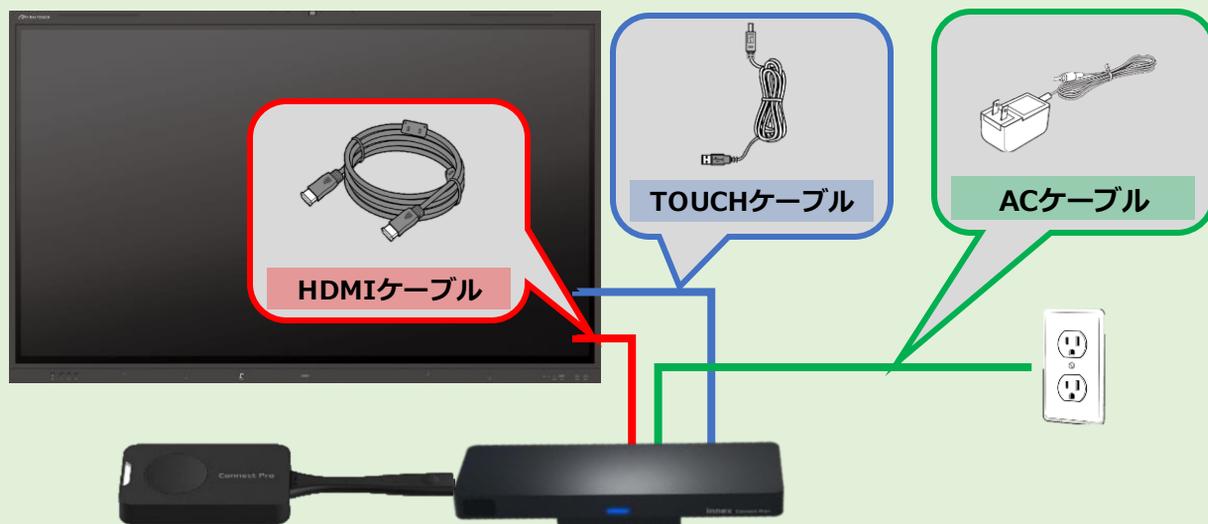
This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

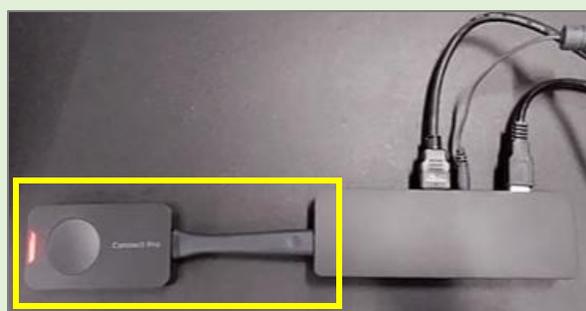
Connect Pro ペアリング設定

① ペアリング設定 (1)

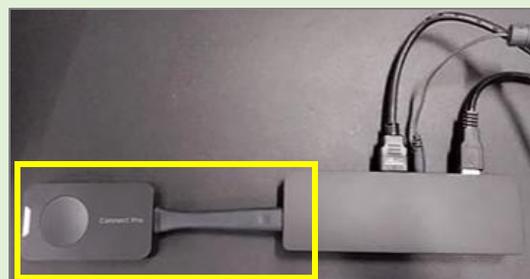
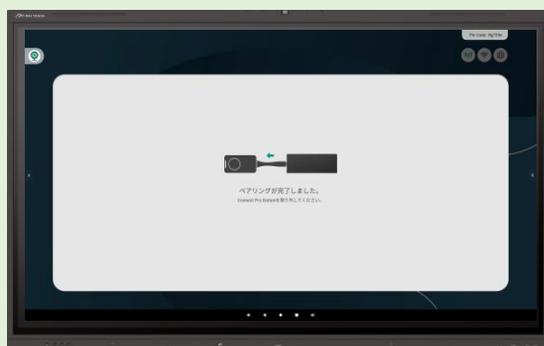
1. 電子黒板にConnect Pro (Receiver) を接続後、USB-CポートにConnect Pro (Button) を接続します。



※Connect Pro (Receiver) を上から見た図

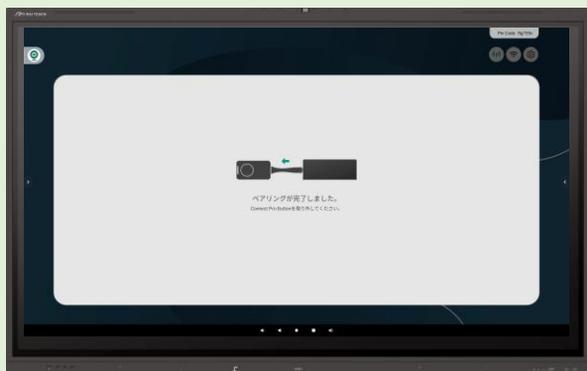


2. ペアリングが完了すると下記画面に変わり、Connect Pro (Button) が赤色の点滅表示から白色の点滅に変わります。



①ペアリング設定（2）

3. ペアリングが完了すると画面表示が下記に変わります。
3. ペアリングが完了したらConnect Pro（Button）を取り外します。



複数のConnect Pro（Button）を1つのConnect Pro（Receiver）にペアリングする場合も、1つずつ同じ方法でペアリングを行います。

※複数のConnect Pro（Button）が1つのConnect Pro（Receiver）に接続している場合

接続端末の1⇒2⇒3⇒4の順で画面投影を行うと、4分割画面の表示で各接続端末の映像が電子黒板に表示されます。



Connect Pro について

① 機材設置

1. 電子黒板にConnect Pro (Receiver) を接続します。



電子黒板にHDMIケーブルとTOUCHケーブルを接続します。
Connect Pro (Receiver) に給電ケーブルを接続します。

※TOUCHケーブルはConnect Pro (Receiver) の背面にあるUSB-Aポートの
下記赤枠箇所に接続します。
TOUCHケーブルを接続すると電子黒板の画面の操作の他、電子黒板の内部カメラ
やマイクを接続端末で使用できます。



2. 接続端末にConnect Pro (Button) を接続します。



接続中の点滅 (赤)

接続完了の点滅 (白)



② 投影方法

1. 電子黒板側で入力切替後に下記画面が表示されます。



2. 端末が認識すると接続端末数と接続メッセージが表示されます。



3. Connect Pro (Button) の画面投影ボタンを選択すると電子黒板に映像が投影されます。



4. 再度投影ボタンを選択すると画面投影を終了できます。



※画面共有時のConnect Pro (Button) とConnect Pro (Receiver) の表示色

【画面共有中】

紫点灯：



白点灯：



【画面共有終了後】

青点灯：



白点滅：

